

令和5年度
「教育委員会の点検・評価」
報告書
(令和4年度対象)



(塩谷町文化振興事業 自衛隊音楽隊によるコンサート)

令和5年9月
塩谷町教育委員会

はじめに

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、各市町村の教育委員会は、毎年、その教育行政事務の執行管理状況について自己点検及びその評価に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

本町では、効率的、効果的な教育行政事務事業の執行体制の確立を図るため、「第 6 次塩谷町振興計画基本計画（前期基本計画）」の施策の大綱の一つである「将来を担う人の育成と活力ある地域コミュニティの形成」に基づき、令和 3 年度より令和 7 年度までの 5 箇年計画で各種教育施策を展開しています。

また、生涯学習の分野では、計画期間を平成 30 年度から令和 5 年度とした第 4 次塩谷町生涯学習推進計画（兼第 1 次塩谷町男女共同参画推進計画）」に基づき、生涯学習施策の推進に取り組んでいるところです。

本報告書は、令和 4 年度における教育委員会議の開催、審議状況、及び教育委員の活動状況、ならびに教育委員会部局の主要事業等について、有識者の方々の指導の下に実施した点検、評価結果を概括的にとりまとめたものです。

町教育委員会では、今後町教育行政のさらなる充実に向け、着実に取り組みを進めていきたいと考えておりますので、町民の皆様をはじめ、関係各位の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 9 月

塩谷町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（前条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	塩谷町における「教育委員会の点検・評価」について	1
II	教育委員会議の開催及び教育委員の活動状況の点検及び評価	
1	教育委員会議の開催及び審議状況	3
2	教育委員会議以外の教育委員の活動状況一覧表	7
3	点検・評価	9
III	教育に関する事務事業の執行状況の点検及び評価	
1	学校教育課所管事業	10
①	学校安全総合支援事業	12
②	塩谷町小・中学校放課後学習支援事業（ステップアップ学習塾）	13
③	ふるさと大好きシオヤっ子育成事業	14
④	給食センター運営事業	15
⑤	スクールバス運行业務（塩谷町地域公共交通計画事業）	16
2	生涯学習課所管事業	17
①	まなびの講座開催事業	18
②	地域学校協働活動推進事業	19
③	図書環境の運営	20
④	文化振興事業	21
⑤	生涯学習フェスティバル	22
⑥	スポーツ・レクリエーションの普及推進事業	23
IV	総合評価	24

I 塩谷町における「教育委員会の点検・評価」について

1 目的

教育委員会の運営及び教育委員会部局の事務事業が、塩谷町教育委員会の方針に沿って、有効かつ効率よく具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自ら点検・評価を行うことにより、今後より一層の教育行政を推進するとともに、町民に対し教育行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象

教育委員会の運営状況及び教育行政を推進する上での上位計画である「第6次塩谷町振興計画（前期基本計画）」（計画期間令和3年度～令和7年度）、及び「第4次塩谷町生涯学習推進計画（兼第1次塩谷町男女共同参画推進計画）」（計画期間平成30年度～令和5年度）に基づき展開した施策のうち、令和4年度の重点事務事業を対象としました。

3 点検・評価結果の構成

1) 教育委員会の運営に関する点検評価

教育委員会議の開催状況、学校行事等への参加状況、関係機関行事等への参加状況、学校訪問の4項目について、点検・評価結果、及び評価者の意見、指摘事項等を記載しました。

2) 教育委員会部局の事務事業に関する点検評価

各事務事業とも、事業の目的、令和4年度の取組状況、事業取り組みの成果、事業実施における課題、今後の方向性の5項目について、点検・評価結果、及び評価者の意見、指摘事項等を記載しました。

4 点検及び評価に関する評価者の設置

町民（保護者）の意見を反映して点検及び評価の客観性を確保するほか、教育に関する有識者等の知見の活用を図るため、点検及び評価に関する評価者は以下のとおりとしました。

氏 名	区 分
小嶋 照彦	元公立中学校長
斎藤 学	元公立中学校長
福田 貴之	塩谷町PTA連絡協議会会長

5 議会への提出及び公表方法

令和5年9月議会開催時に全町議会議員に報告書を提出します。
また、報告書は塩谷町ホームページに掲載します。

6 塩谷町教育行政の基本方針

塩谷町教育委員会は、栃木県教育委員会の基本方針及び塩谷町振興計画に従い、例年、重点事業、努力点、具体策等を設定し、下記7項目の教育目標に基づき、積極的に教育施策の推進に努めています。

1. 教育推進体制の充実
2. 教育環境の充実
3. 生涯学習環境の充実
4. 芸術・文化活動の推進
5. スポーツ・レクリエーションの普及推進
6. 人間性豊かな人づくりの推進
7. 町民と協働した地域づくりの推進

II 教育委員会議の開催及び教育委員の活動状況の点検及び評価

1 教育委員会議の開催及び審議状況

教育委員会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律ならびに、塩谷町教育委員会会議規則に基づき開催しており、教育委員と事務局職員間の情報共有、問題発生時等の早期対応を目的として、年間開催回数目標を13回としています。

令和4年度は、14回の定例会議が開催され、事務の執行に関する事、教育委員会規則、要綱等の制定、改正に関する事、教職員の人事に関する事等、審議案件37件、検討案件2件、報告案件21件が議題となりました。

会議開催時には、教育委員が参加した研修について報告を行う、また講師を招いた勉強会を開催する、資料により知見を深める等、塩谷町が抱えている課題の検討や情報の共有に努めました。

また、10月には塩谷町学校規模適正化検討委員会に塩谷町立小・中学校の規模及び配置の適正化に関し諮問しました。

令和4年度における開催日ごとの審議案件の内容、検討案件の内容、報告案件の内容はP4からP6までの一覧のとおりです。

なお、教育長が緊急と認めて招集する臨時会の開催はありませんでした。

令和4年度中の教育委員一覧

氏名	在任期間	備考
手塚 一信	平成25年6月29日～令和7年6月28日	職務代理者
藤咲 麻紀子	平成25年6月29日～令和6年9月30日	
増淵 壽春	平成29年6月29日～令和7年6月28日	
戸村 光宏	平成30年6月29日～令和8年6月28日	
斎藤 智之	令和2年10月1日～令和6年9月30日	教育長

2 教育委員会議以外の教育委員の活動

教育委員は、教育委員会議の他に、学校訪問の実施、学校行事、関係機関への会議、行事等に参加しています。

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大に注意を払いながら、4校すべての学校を訪問することができ、授業風景の視察及び各校の現状確認、学力、体力向上の取り組み、学校施設の状況等を確認しました。

令和4年度における活動状況は、P7からP8までの一覧のとおりです。

令和4年度 教育委員会審議案件等一覧表

1. 審議案件37件

開催回数	委員会開催日	件数	審 議 案 件 名	備考
1	令和4年第4回 令和4年4月6日	1	後援名義使用承認申請について	
2	令和4年第5回 令和4年4月22日	2~4	後援名義使用承認申請について(2件) 塩谷町学校規模適正化検討委員会設置要綱の制定について	
3	令和4年第6回 令和4年5月20日		(審議案件なし)	
4	令和4年第7回 令和4年6月24日	5~7	指定校変更許可申請について 後援名義使用承認申請について(2件)	
5	令和4年第8回 令和4年7月22日	8~11	令和5年度使用教科用図書の採択について 指定校変更許可申請について 後援名義使用承認申請について(2件)	
6	令和4年第9回 令和4年8月26日	12~14	後援名義使用承認申請について(2件) 指定校変更許可申請について	
7	令和4年第10回 令和4年9月30日	15~16	後援名義使用承認申請について 区域外就学許可申請について	
8	令和4年第11回 令和4年10月14日	17	教職員人事異動事務の教育長一任について	
9	令和4年第12回 令和4年11月1日	18	中学生海外派遣事業について	
10	令和4年第13回 令和4年11月29日	19	指定校変更許可申請について	
11	令和4年第14回 令和4年12月21日	20~22	後援名義使用承認申請について 指定校変更許可申請について 区域外就学許可申請について	
12	令和5年第1回 令和5年1月27日	23~31	後援名義使用承認申請について(2件) 区域外就学許可申請について(2件) 教育委員会事務局の組織及び事務分掌規則の改正について 給食センター設置条例の改正について 塩谷町学校施設の目的外使用に関する使用料条例の一部改正について 塩谷町学校施設の開放に関する規則の一部改正について 湧く湧くしおやウォーキング大会運営費補助金交付要綱の制定について	
13	令和5年第2回 令和5年2月21日	32~34	区域外就学許可申請について(2件) 押印の見直しについて	
14	令和5年第3回 令和5年3月3日	35~37	令和5年度小・中学校職員定期人事異動の承認について 指定校変更許可申請について(2件)	

2. 検討案件 2件

件数	委員会開催日	協 議 案 件 名	備考
1	令和4年第9回 令和4年8月26日	塩谷町学校規模適正化検討委員会への諮問書について	
2	令和5年第3回 令和5年3月3日	4月からの教育委員会の日程(案)について	

3. 報告案件21件

件数	委員会開催日	協 議 案 件 名	備考
1	令和4年第4回 令和4年4月6日	令和4年度教育委員会重点事業について	
2	令和4年第5回 令和4年4月22日	町指定天然記念物現状変更等許可について	
3	令和4年第6回 令和4年5月20日	区域外就学について	
4		令和4年度就学援助支給該当児童生徒について	
5	令和4年第7回 令和4年6月24日	学校規模適正化検討委員会委員について	
6		令和4年度塩谷町教育委員会点検・評価項目について	
7	令和4年第8回 令和4年7月22日	町指定天然記念物現状変更等許可について	
8		令和4年度塩谷町教育委員会点検・評価について	
9	令和4年第9回 令和4年8月26日	町内児童生徒等の新型コロナウイルス感染症発症状況について	
10	令和4年第10回 令和4年9月30日	学力調査結果について	
11		通学路安全推進会議の結果について	
12	令和4年第11回 令和4年10月14日	後援名義使用承認について	
13		第77回国民大会いちご一会とちぎ国体について	
14	令和4年第12回 令和4年11月1日	第1回塩谷町学校規模適正化検討委員会について	
15	令和4年第13回 令和4年11月29日	「はたちのつどい」について	
16		区域外就学の承諾について	
17		令和4年度教育支援委員会の結果について	
18		市町村教育委員会連合会研修会について	
19	令和4年第14回 令和4年12月21日	第2回塩谷町学校規模適正化検討委員会について	
20	令和5年第1回 令和5年1月27日	教育支援の結果報告について	
21		令和4年度塩谷町教職員協議会、塩谷町PTA連絡協議会からの要望に対する回答について	

令和4年度 教育委員会会議以外の活動状況一覧表

月	各種行事等	関係機関会議・総会・行事等	学校訪問等
4	教職員辞令交付式 塩谷中学校入学式 町立3小学校入学式	町内各地区コミュニティ推進協議会総会(書面) 町婦人会総会 町スポーツ協会定期評議員会 塩谷地区スポーツ協会総会(書面) 県市町村教育委員会連合会町教育長部会定例総会 塩谷南那須地区教育委員会連合会教育長会議 県市町教育委員会教育長会議	
5		町PTA連絡協議会総会(書面) 塩谷南那須地区教育委員会連合会総会 第1回地域学校協働活動推進事業本部協議会 町子ども会連合会定期総会(書面) 町文化協会定期総会 町女性団体連絡協議会総会 町スポーツ少年団定期総会(書面) 全国町村教育長会定期総会 塩谷地区スポーツ推進委員連絡協議会総会	
6		関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会(書面) 北関東町村教育長会定期総会 塩谷南那須地区教育委員会連合教育長会議 ウォーキングしおや推進委員会 町社会教育委員会兼生涯学習センター運営審議会 兼図書館協議会 スポーツフェスタ第1回実行委員会	玉生小学校(6月22日) ・学校概要確認 ・授業風景視察 ・施設、設備等の確認 ・学校長との懇談
7		塩谷町学校給食運営委員会 第77回国民体育大会塩谷町実行委員会第5回通常総会 町青少年育成町民会議総会	
8		塩谷女川交流研修会	
9	塩谷中学校運動会	塩谷南那須地区教育委員会連合研修会 市町村教育長・教育委員研究協議会	大宮小学校(9月30日) ・学校概要確認 ・授業風景視察 ・施設、設備等の確認 ・学校長との懇談
10	3小学校運動会 文化振興事業	塩谷南那須地区教育委員会連合定例会 栃木県市町村教育委員会連合会第2回定期総会	

令和4年度 教育委員会会議以外の活動状況一覧表

11		栃木県市町村教育委員会研究協議会	船生小学校(11月29日) ・学校概要確認 ・授業風景視察 ・施設、設備等の確認 ・学校長との懇談
		栃木県市町村教育委員会連合会研修会	
12	しおやの子どもを育てるフォーラム	町社会教育委員会兼生涯学習センター運営審議会	
		兼図書館協議会会議	
		スポーツフェスタ第2回実行委員会	
1	塩谷町はたちのつどい 生涯学習振興大会		塩谷中学校(1月27日) ・学校概要確認 ・授業風景視察 ・施設、設備等の確認 ・学校長との懇談
2	塩谷中学校立志式	県市町村教育委員会連合会町潮位区長部会研修会	
		第1回町文化財保護審議会	
3	塩谷中学校卒業式 町立3小学校卒業式	塩谷南那須地区教育委員会連合会定例会	
		町社会教育委員会兼生涯学習センター運営審議会 兼図書館協議会会議(資料送付)	
		総合教育会議	
		第2回地域学校協働活動推進事業本部協議会	
		第77回国民体育大会塩谷町実行委員会第6回(解散)総会	

令和5年度教育委員会運営に関する点検・評価シート(令和4年度対象)

評価項目	自己評価	意見・感想
教育委員会議の開催状況について	A	年間開催目標13回以上のところ14回の開催となった。教育委員が参加した研修内容の共有や、講師を招いての勉強会の開催、配布された資料をもとに知見を深める等、議案審議のみならず中身の濃い会議が開催できた。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
	A	目標回数以上の開催実績、情報の共有や勉強会等、会議内においても主体的な活動を行っている判断される。
学校行事等への参加状況について	自己評価	意見・感想
	B	コロナ禍が続いていたが、学校の方から要望があった行事等にはほぼ参加できた。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
関係機関行事等への参加状況について	A	学校からの要望に応えられたことは評価できる。事実は現場にあるので、可能な限り参加するよう要望する。個人や少人数での学校見学も行ってみたいかどうか。
	自己評価	意見・感想
	B	コロナ禍が続いていたが、集会による行事が増えた。参加出来る行事は概ね参加出来た。
学校訪問について	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
	B	参加可能な行事に参加できたことは評価できる。オンラインでの参加と参集による参加の併用により、より積極的な参加を期待する。
	自己評価	意見・感想
学校訪問について	B	コロナがまだ落ち着いていない中だったが、感染症対策をしながら全校訪問することができ、各学校の現状を知った後の会議がとても有益なものとなった。
	点検・評価結果	点検・評価者意見、指摘事項等
	A	昨年度と比較し、早い時期に学校訪問を行っている。全学校を訪問出来たことも評価できる。 学校には年度当初に訪問日を提示できると良い。

【点検・評価】

点検・評価結果		
A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

Ⅲ 教育に関する事務事業の執行状況の点検及び評価

1 学校教育課

学校教育課では、「第6次塩谷町振興計画基本計画（前期基本計画）」の施策1「将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成」の施策として掲げられている「教育推進体制の充実」、「教育環境の充実」等に示された学校教育課所管の主な取り組み等に関して、令和4年度における重点事業、主要事業の点検・評価を行い、その結果を取りまとめました。

	主な取組	各種課題
教育推進体制の充実	I 生きる力を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動等によるの社会奉仕活動、各種自然活動プログラムの開発、活用による学校教育の充実 ・ 家庭、学校、地域の連携による子どもの主体的に学び合う力の向上 ・ 一人ひとりの「個」に応じた支援 ・ 情報モラルに関する取組の支援 ・ 小中学校の適正配置や施設確保の在り方の検討
	II 教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校における研修への参加、校内研修の実施支援 ・ 教育の情報化の推進による教職員の業務効率化の支援 ・ 指導主事に対する研修会、研究発表会等への参加の促進
教育環境の充実	I 学校施設の維持改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内小中学校長寿命化計画に基づく、安全性、利便性の高い施設整備の維持 ・ 情報系機器の充実により ICT を活用した学習環境の確保 ・ 安心安全な給食の提供のための給食センターの維持管理
	II 学校運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会と学校間の連携・協力の推進 ・ 情報ネットワーク活用による学校事務の効率化 ・ 特別な配慮が必要な児童生徒の増加に対応するための会計年度任用職員（教育職員）の適正配置
	I 公共交通網の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校スクールバスの効率的な運用

令和4年度における学校教育課所管の重点事業、主要事業は下記4事業であり、事業ごとの点検・評価内容はP12からP15までのとおりです。

スクールバス運行业務は、塩谷町地域公共交通計画事業に基づく業務ですが、学校教育課が主として担っている業務のため、点検・評価の対象としています。点検・評価内容はP16です。

- ①学校安全総合支援事業
- ②塩谷町小・中学校放課後学習支援事業（ステップアップ学習塾）
- ③ふるさと大好きシオヤっ子育成事業
- ④給食センター運営事業
- ⑤スクールバス運行业務（塩谷町地域公共交通計画事業）

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	学校安全総合支援事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当
	施策名	教育推進体制の充実	事業費	861 千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等						
事業の目的	危険を予測し、回避する能力を身に付け、自分を守る行動ができる児童生徒の育成を目指し、また本事業の成果をみながら、モデル地区内校の設備等の充実を図る。					
令和4年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町実践委員会の開催(3回) ・県推進委員会への参加(3回) ・公開避難訓練 ・避難訓練 ・心肺蘇生教室 ・交通安全教室 ・通学路安全点検 ・先進地での講習会にオンラインで参加 ・安全マップ作成 ・県教育研究発表大会にて成果発表 ◎設備備品費 569,800円 諸謝金166,000円 消耗品費122,252円 会議費3,744円					
事業取り組みの成果	成果指標としてアンケートを取ったが、全てにおいて実施前より実施後の方が割合が上がった。 ・危険を予測したり回避したりする力を身に付けている児童生徒の割合 37% ⇒ 92% ・不審者が侵入してきた際の役割や、児童生徒を安全に避難させる方法を知っている職員の割合 81% ⇒ 100% ・通学路における「こども110番の家」の場所、住民を知っている児童生徒の割合 47% ⇒ 64%					
事業実施における課題	令和4年度は100%国庫補助で実施できたが、今後は補助金がないので同ような活動はできない。					
今後の方向性	ゼンリンの住宅地図(DVD)や公開避難訓練の映像を配布してあるので、各学校で必要に応じて各種事業を今後も実施していくよう指導していく。					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
この事業を実施できたおかげで、不審者侵入の抑止力効果があることが立証され、全校に防犯カメラの設置することが決まった。また、自分を守る行動ができる児童生徒の育成につながることが出来たと思うので、計画通りの目標を達成できたと考える。

【評価者評価】

【 B 】

評価者意見・指摘事項等
計画目標が明記されていないが、アンケートの結果から目的は達成出来たと判断できる。自己防衛は基礎的能力として必要であるため、今後も継続事業としての実施を希望する。

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	塩谷町小・中学校放課後学習支援事業(ステップアップ学習塾)					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当
	施策名	教育推進体制の充実	事業費	338千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等						
事業の目的	小学校2年生から中学3年生を対象に週1回程度(年間約20回程度)放課後の学校で学習支援に取り組む。町採用会計年度任用職員が指導することで、より多くのニーズに応え、学力の向上を目指していく。					
令和4年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着を図るとともに、自ら学習のめあてを設定したり、振り返りを行ったりすることにより、学習の仕方を身に付け、学ぶ楽しさや達成感を味わえるような学習活動を行う。 ・学習の内容は、国語・算数を中心に、理科・社会なども希望に応じて実施した。 ・基本的に毎週水曜日に実施。1回の開講時間は、約90分間 ・予定回数 小20回 中15回 ・参加人数・・・船生小19名、玉生小17名、大宮小11名、塩谷中13名 計60名 <p>◎人件費 1,500円×3名×75回 = 337,500円</p>					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒から年度末に調査したアンケートの結果から、「学習して苦手なところがあった。」「今までよりも学習ができるようになった。」「学習への意欲が高まった。」などの項目に肯定的な回答する児童生徒が多かった。 ・自分で準備したドリルや問題集などが終了しても、本町のパソコン内に入っているドリルソフトを意欲的に行っている様子が見られた。 					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な学びの場(自分で計画をし、自分で課題を決めて学習できる。)としての体制をより一層整えていきたい。 ・タブレットの導入により、学習できるドリルの量が増えた。効率の良いパソコン利用の仕方を指導者(町採用会計年度任用職員)に伝えていく。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町採用会計年度任用職員へのパソコン利用の研修をおこなう。 ・多くの子供たちの参加を可能にするためにも、小学生への希望者の保険料800円を無償化していきたい。 ・基礎的・基本的な問題以外にも、さまざまな問題を解かせることで学習の定着を図りたい。 					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【B】

意 見 ・ 感 想 等
児童生徒の年度末のアンケートの結果からも、本事業に対する子どもたちの「勉強ができるようになった。」「学習のやり方がわかった。」等の前向きな回答が得られた。本町の約10人に1人の児童生徒が本事業に加入しており、これからも本町の子どもたちに学習できる場を与えていきたい。

【評価者評価】

【A】

評 価 者 意 見 ・ 指 摘 事 項 等
点数等目に見える成果が不明なため判断が難しいが、本事業は「学ぶ楽しさ」「達成感」を味わえる活動であるとのことで、成果から判断すると「A」と評価できる。 本町の子ども達の学力向上に向け、本事業への参加により使用できるアプリの導入、参加人数、参加回数の増加等を目指してほしい。

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	ふるさと大好きシオヤっ子育成事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	学校教育課	担当	学校教育担当
	施策名	教育推進体制の充実	事業費	300千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等						
事業の目的	令和3年度に作成した、本町の特色を取り入れたこの体験活動プログラムを町内児童に体験してもらい、郷土愛、キャリア発展を促し、将来の塩谷町を支える人材育成を図る。					
令和4年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・たのしいあきいっぱい(生活科)1年生 ・こうえんへ行こう(生活科) 秋の生きものさがし(生活科)2年生 ・町のように調べよう(生活科) 図工(わらリースづくり)3年生 ・地震、風水害などの自然災害に備えて(社会科)4年生 ・環境について考えよう(総合)5年生 ・大地のつくりを変化(総合)6年生 ・校庭の樹木を調べて樹木板を作る 環境委員会(委員会活動) ◎船生小学校20,000円 ◎玉生小学校145,000円 ◎大宮小学校135,000円					
事業取り組みの成果	学習指導要領に沿った体験活動が出来たと好評だった。					
事業実施における課題	学校によって実施希望に差がある。					
今後の方向性	今後も小学生対象は続けていき、中でも活用の少ない学校には積極的な活用を促していきたい。また中学生の宿泊学習にも対応していけるよう検討していきたい。					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
学校間に差はあるが、当初予算以上(くまの木で値引きしてくれた)のどおりの活動ができたので自己評価はBとさせていただいた。この事業は教職員から好評である。

【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 ・ 指 摘 事 項 等
将来の塩谷町を支える人材として「心のふるさと塩谷」を持つためにも、仲間と密な時間を持つこと、塩谷を素材とした空間を共有することが大切である。また、経験の充実は子どもの資質向上にも繋がることから、価値のある事業と思われる。本事業の継続を望む。

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	給食センター運営事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	学校教育課	担当	給食センター
	施策名	教育環境の充実	事業費	122,579 千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	学校給食法、塩谷町立学校給食センター設置条例					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 給食センター式共同調理により、町内3小学校、1中学校に安全安心かつ質の高い給食を提供する。 町内で生産された食材を積極的に使用して、地産地消の推進を図る。 塩谷町第2次自律計画に基づき、経費削減のほか、安全管理、危機管理体制更なる構築を目的に、平成26年度から調理業務、配送業務を民間委託している。 近年急増している、児童生徒の食物アレルギー対策について、学校・保護者・関係機関との連携を強化し事故防止に努める。 					
令和4年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 町内3小学校、1中学校への給食の提供(年間197日 138,688食 日平均食数704食) 令和4年度の給食費収入は34,907千円 令和2～4年度の給食業務委託契約(年間38,841千円×3年)に基づいた事業実施。 令和4年度末で委託業者イトランド(株)の契約期間満了のため、指名型プロポーザル審査にて次年度以降の業者を選定。(5社指名。3社辞退。審査結果により令和5年4月から(株)メフォスに交替。※審査員には学校教育課、給食センター職員は入らない) 自動ドアの更新交換3ヶ所、洗浄室のシステム食器類洗浄機の更新を行った。 随時、老朽化した機器類を修繕。(シンク水漏れ、球根皮剥機、パススルー冷蔵庫庫、排水処理原水ポンプ、プレハブ冷凍庫、消毒保管庫電磁弁等) 新しい給食用食器(仕切り無し角皿)の購入。 有機栽培食材(有機米)の導入(月1回提供。有機食材推進の主管課は産業振興課) 					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> 食材調達、調理、配送とも不備は無く、欠食することもなく給食を提供できた。 厨房機器類の修繕や点検により、異物混入なく給食を提供できた。 					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び調理設備の老朽化に伴い修繕費等の支出が増加傾向にあり、耐用年数を大幅にオーバーしている機器自体の更新が必要となってきている。今年度も何機か故障し、その都度、修繕で対応しているが、修繕の部品確保も非常に困難となってきている。 食材費の高騰により、給食費の改定も今後は検討課題としていかなばならない時期にある。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、センター館内全体の空調機器更新を実施予定している。 高額となる老朽化した厨房機器類(食缶洗浄機、真空冷却機等)の更新は令和5年度以降要検討。 調理設備等のメンテナンスを実施し重点的な対応箇所を把握、計画的に修繕もしくは更新を行い、故障等による混乱を未然に防止する。 調理および配送業務を委託している業者が交替するため、安全管理、危機管理体制の更なる充実を図り、学校給食衛生管理基準に基づいた基礎基本を徹底させ、引き続き安心安全な給食提供をする。 					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には遠く至らなかった。	期待した成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍や世界情勢の影響による物価高騰が続いているが、食材の質や量のレベルを下げることなく、衛生管理を徹底した上で安心安全な学校給食を予定どおり提供することができた。 機械類の故障や不具合が相次いだが、専門業者と連携して迅速な対応をした結果、給食提供時間に遅滞なく作ることができた。

【評価者評価】

【 B 】

評価者意見・指摘事項等
<p>物価高騰の中で予定どおりに、かつ安全安心に提供ができたことは評価できる。</p> <p>子どもにとって仲間との給食はかけがえのない時間であり、食育の観点からも重要なパーツとなっている。</p> <p>機材の老朽化による故障により給食が急に止まることのないよう、機材入替等は計画的に行ってほしい。</p> <p>今後も物価の高騰は続くと思われるが、質の維持のためにも給食費の値上げの検討を視野に入れてはどうか。</p>

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	スクールバス運行業務(塩谷町地域公共交通計画事業)					
総合計画	政策名	豊かな自然の保全と快適な生活環境の整備	担当課	学校教育課	担当	庶務管理担当
	施策名	便利な交通網の整備	事業費	116,636 千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	塩谷町立塩谷中学校スクールバス運行に関する条例					
事業の目的	令和4年度から5年間において、現状の公共交通サービスを持続的に提供できる環境を整える。うち、スクールバス分野では、小中学生が家族の送迎等がなくとも通学ができ、子育て世代が暮らしやすいまちを目指す。					
令和4年度の取り組み状況	<p>利用条件:小学生は通学距離が2km以上となる行政区に在住する児童が利用できる。 中学生は通学距離が6km以上となる生徒が利用できる。ただし、3～6km以内の生徒は座席に空きがあれば利用できる。</p> <p>利用料:中学生は1年間で1万円、小学生は無料</p> <p>スクールバス契約期間:令和3年4月1日から令和8年3月31日(5年間)</p> <p>委託金額(年間):小学校(3校) 77,300千円、中学校 35,376千円 年間総額 112,676千円 5年総額563,380千円</p> <p>※ただし、地方交付税措置により、町の実質負担は4割程度である。</p>					
事業取り組みの成果	<p>スクールバス台数及び利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船生小学校・・・3台、72人(67%) ・玉生小学校・・・5台、53人(44%) ・大宮小学校・・・3台、83人(71%) ・塩谷中学校・・・5台、131人(57%) <p>船生方面2路線47名、玉生方面1路線22名、大宮方面2路線62名 朝1便、夕2便で運行している。</p>					
事業実施における課題	毎年度、スクールバスの利用者状況をもとに運行通路の見直しを行っているが、利用者が点在していること、また、小中学校で路線の重複かつバスの座席に余裕があっても、様々な事情により混乗が難しいために、バスの借り上げ台数を減らす事が出来ず、それに伴い高額な委託料が発生している。					
今後の方向性	将来にわたり小中学生は減少傾向になる。学校規模適正化による小学校の統合や、スクールバス利用条件の変更等を視野に入れた効率的、効果的な通学手段の検討が必要となる。					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
令和4年度もスクールバス運行通路の見直しを行い、必要最小限のバス台数で運行することが出来た。また、利用条件を満たすスクールバス利用希望者は全員利用可とすることが出来た。

【評価者評価】

【 B 】

評価者意見・指摘事項等
運行台数や運行状況において現状では適切と判断し、評価はBとする。 歩く機会が減少している現代で、通学もバス利用者が多くなると体力・気力の低下が心配である。 費用が高額な事業であるので、今後も必要性や利用状況が変化するなかでバランスを見ながらスクールバスの最適な運営を期待したい。

2 生涯学習課

生涯学習課では町民憲章に掲げる「自然美と活力に満ちあふれた塩谷町」を築き上げることを目標に策定した「第4次塩谷町生涯学習推進計画（兼第1次塩谷町男女共同参画推進計画）」の基本理念に基づき、『学びによる「人づくり」』『地域づくり』『絆づくり』『自分づくり』をキーワードに取り組んだ令和4年度における重点事業、主要事業の点検・評価を行い、その結果を取りまとめました。

生	課 題	施 策
涯 学 習 ・ ス ポ ー ツ 振 興	I 学びによる魅力の発見 ～学習情報・機会の充実～	・学習情報の収集、提供、相談の充実 ・学習機会の充実
	II 地域が輝く魅力の育成 ～町民・地域・行政の協働～	・協働事業等の充実 ・民間団体等による活動の促進
	III 魅力ある資源の発信 ～人・地域資源の活用～	・人材、学習等施設の活用 ・文化財等の活用
	IV 一人ひとりの魅力ある自分 づくり ～男女共同参画推進～	・一人ひとりの参画を進める環境づくり ・各分野での男女共同参画の推進 ・一人ひとりの人権の尊重と暴力の根絶

令和4年度における生涯学習課所管の重点事業、主要事業は下記6事業であり、事業ごとの点検・評価内容はP18からP23までのとおりです。

- ①まなびの講座開催事業
- ②地域学校協働活動推進事業
- ③図書環境の運営
- ④文化振興事業
- ⑤生涯学習フェスティバル
- ⑥スポーツ・レクリエーションの普及推進事業

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	まなびの講座開催事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	生涯学習環境の充実	事業費	191 千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法					
事業の目的	「学び」は町民一人ひとりの豊かな生き方を支えることになる。個々の学習の成果や経験を地域や社会に還元し、まちづくりにつなげていくことを目指し、地域のコミュニティ活動などの町民主体の活動の支援を図るための学習機会や学習情報の提供を行う。					
令和4年度の取り組み状況	令和4年度は後期(9月)からの開講となった。 まなびの講座は、9講座27回の講座を開講し、延べ人数で186人の参加者があった。 その他、小中学生が対象の夏休みを利用した「しおやサマースクール」は5回実施した。 高齢者学級は未実施であった。					
事業取り組みの成果	開催した講座＝まなびの講座(9講座186名)、サマースクール(5講座36名)、総参加者数222人(前年189人)であった。 コロナ感染症の影響があっても、募集した講座はほぼ定員となり、町民の講座受講への興味や意欲の高さがうかがえた。					
事業実施における課題	コロナ禍によりしばらく事業が実施出来なかった事で、生涯学習から離れてしまった人もいられる。今後は、ウィズコロナを念頭に置きながら、必要に応じて大きな学習の機会も作っていききたい。 また、生涯学習推進計画策定に係る調査業務において、特に若い世代の方ほど、まなびの機会に参加するとすれば週末(土日)を希望しており、今後新たなまなびの機会を設定するにあたり、週末開催も検討する必要がある。					
今後の方向性	今後は、感染症対策にそれほど手間をかけないとしても、引き続きどのようなまなびのニーズがあるか情報収集を行いながら、参加者の満足度の高い講座を開講したい。特に参加が少ない若い世代や男性が参加するような講座について、課題における週末開催の検討や、ニーズ把握を行い、幅広いまなびの機会を提供できるようにしていきたい。					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
<p>まだ、コロナの影響があったため、感染症対策を講じながらの開催ではあったが、参加者の理解もあり、大きな事故等もなく実施できた。 参加された方々は楽しみながら参加していた印象が強く、引き続きまなびの機会づくりに注力したい。</p>

【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 ・ 指 摘 事 項 等
<p>昨年度と比較し、講座数、参加者ともに増加している。町民の生涯学習意識形成の核となる事業であり、まちづくりへの貢献も大きいと思われる。 今後も、積極的にニーズの掘り起こしを行い、より多くの町民が参加し、町民が主体的に行う形の事業となることを期待する。</p>

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	地域学校協働活動推進事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	生涯学習環境の充実	事業費	144 千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法、塩谷町地域学校協働活動推進事業実施要綱、塩谷町地域学校協働活動推進員設置要綱					
事業の目的	地域の高齢者、保護者、PTA、民間企業、各種団体など、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行っていく。					
令和4年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・塩谷町地域学校協働活動推進本部協議会の開催(2回) ・各小学校区での支部協議会の開催(各校1回以上) ・各学校区における協働活動の実施 ・放課後子ども教室の実施 ・地域学校協働活動推進員(小学校コーディネーター)によるコーディネーター事業の実施 					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・支部協議会、本部協議会の開催により、地域と学校が協働して子どもたちのためにできることを考えようという意識が高まった。 ・コロナ禍において、地域と学校の持続的なつながりの重要性を両者が認識し、新しいつながり方を考えることができた。 ・地域の方々と先生が、地域で子どもたちを育てていこうという意見交換をすることで、学校がより身近なものになった。 					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支部協議会が継続的・自発的な取り組みにしていくには、数年間、事務局の継続した支援が必要。また、小学校コーディネーターと学校との関係作りについても同様。 ・住民の意識に地域差があるため、実態に合った協働活動の進め方や学校との関係作りを行っていく必要がある。 ・協働活動は、幅広い地域住民と、教職員の参画と協力を得なければならないので、特に保護者世代に向けての学校や地域における啓発が必要である。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動本部協議会における小中連携または町全体で連携した協働活動の検討 ・町地域連携研修会とコーディネーター研修会、学校支援ボランティア交流会の実施 ・小学校コーディネーターによるコーディネーター事業の活性化 					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
小学校各校において支部協議会、町で本部協議を実施することができた。協働活動への学校と地域の参画意識の向上と両者の関係作り、より深まりのある協議会にしていくことの三つが今後の課題である。令和4年度の目標は計画通り達成することができた。

【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 ・ 指 摘 事 項 等
大宮地区による町地域学校協働活動推進協議会が立ち上がり、3地区とも設立済みとなった。他にも各学校における共同活動や放課後子ども教室の実施等、昨年度と比較し、量的には上回っているが、これは令和4年度の計画通りの内容とのことで、評価はBとする。 この事業が教職員の負担軽減へのきっかけとなることを期待する。

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	図書館の運営					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	生涯学習環境の充実	事業費	12,786 千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法、図書館法、塩谷町図書館条例					
事業の目的	子どもから大人まで読書を通じて生涯学習を深められる場を目指し、町民の方の読書要求に応える図書資料及び各種サービスを提供することにより、多くの利用者が図書館を活用し、身に付けた知識等を地域や社会に活かせる学習機会の場とする。					
令和4年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 資料貸出閲覧 所蔵冊数約34,898冊(受入冊数2,269冊、除籍冊数1,277冊)、年間総貸出冊数21,077冊(うち相互貸借による貸出数129冊)、利用登録者数943人、来館者数7,351人 企画・広報事業 図書館見学受入れ(小学校3校)、お話し 図書館まつり 図書館を知ってもらい、足を運ぶきっかけ作りとしてミニゲームや司書体験、キッチンカー出店を実施。(5/8) 電子図書館開館(4/1～)、セカンドブック事業開始 町の吹奏楽団体(アンサンブルしおや)による図書館ミニコンサートの開催(1/15) その他 要望のあった学習用個人机(8セット)の購入 					
事業取り組みの成果	<p>まだコロナ感染症の影響もあり、対策を講じた上での開館となった。本年度に関しては、国体の開催や、蔵書点検などを除き、通常の営業ができたと考える。</p> <p>利用者が減少しているが、これは電子図書館が開館したこともあり、これまでの更新を必要としない利用登録では、町外に転出した方も利用できる状態となることから、5年更新の仕組みを取り入れ、実施したためである。</p> <p>電子図書館の利用については、周知を行っているもののあまり増えていない現状である。</p>					
事業実施における課題	<p>図書館及び電子図書館の利用者については、利用者を増やすために周知方法や人の集まるイベントの開催などについて検討を行う必要がある。</p> <p>また、個人学習机を導入し、自習で利用する生徒等が若干増えたが、生涯学習センターと兼用のため、子どもたちが大きな声を出したり、各サークルで音を出したりする部分との整合性が困難である。他にも、貸し出した本を返却しない利用者への督促などの課題がある。</p>					
今後の方向性	<p>電子図書館については、本年度より小中学校での授業等に活用できないか、学校側と調整を進める。</p> <p>また、11月を目処に生涯学習課職員も新庁舎へ移転することになるため、トラブルなく移転できるよう準備を徹底する。その他、町民の方が図書館に足を運んでもらえるよう様々な方策を検討する。</p>					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
<p>図書館については、生涯学習センターがワクチン接種会場ではなくなったこともあり、ほぼ通常の営業ができたと判断する。コロナの間に、利用しなくなった方もいるかと思うが、その期間に電子図書館や学習スペースなど以前と違う設備もできたことから、改めて周知などを行い、利用者増に繋げたい。</p>

【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 ・ 指 摘 事 項 等
<p>幼少期から読書意欲の向上を高めるブックスタートやセカンドブックの事業は素晴らしい。読書習慣を身につけることで自己内対話が行われ、自分の価値観を育てることが可能となると考えるので、今後も事業の継続を求める。</p> <p>また、情報センターとしての図書館の充実を求めると共に、利用率増加に向けた対策を思案してほしい。</p>

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	文化振興事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	芸術・文化活動の推進	事業費	65千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法					
事業の目的	町民が日常生活の中でゆとりや潤い、感動を感じられるように音楽や演劇鑑賞等を提供する。					
令和4年度の取り組み状況	一般…自衛隊音楽隊コンサート→10/22 学校…栃木県巡回伝統芸能(塩谷中)→11/1 栃木県巡回講演(演劇)(船生小)→12/9 芸術鑑賞、音楽鑑賞、演劇鑑賞(各小学校)					
事業取り組みの成果	一般…塩谷中学校アリーナを会場としたコンサートのため感染症対策が必要であったが、多くの参加者(255名)に会場いただき、アンケートも高評価であった。 学校…本物の音楽や演劇等を直接鑑賞することで、芸術文化への関心を高めることができた。また、今後の進路選択の一助とすることができた。					
事業実施における課題	一般…今回のコンサートは、自衛隊音楽隊のファンや、コロナ禍における鬱憤を晴らす機会として参加されたと推測される参加者もいた。他のコンテンツや、コロナが5類に下がったことを考えると、町民のニーズについては、今後も情報収集が必要。 学校…国や県の補助事業を活用して、芸術にふれる機会を設定している学校が多い。今後は、保護者の参加も可能にするなど、親子で芸術に親しむ機会として検討してもよい。					
今後の方向性	より良い芸術文化に接してもらい機会を提供することは、町民の芸術文化の意識の向上や将来の職業としての魅力探しに繋がるので、今後も継続して事業を行っていく。					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意見・感想等
自衛隊音楽隊コンサートは、老若男女を問わず人気のあるコンテンツであり、通常の周知(広報、HPなど)のみで参加者が集まったが、今後はどのようなイベントを実施するにしても他の周知方法が必要になると考える。これは、文化振興事業に限らないことであるが、周知方法についても、今後検討を進めたい。

【評価者評価】

【 A 】

評価者意見・指摘事項等
昨年度と比較し、事業費が減少しているにもかかわらず実施回数が増加しており、効率的な運営がなされたと判断できる。今後も、町民の文化意識を向上させるため予算とのバランスを考慮しながら、多くの町民の参加を促すような内容の企画を期待する。 周知不足が見られるので、周知方法についての検討を要望する。

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	生涯学習フェスティバル					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	芸術・文化活動の推進	事業費	130千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	社会教育法					
事業の目的	住民参加型のフェスティバルとして開催しており、作品展示及び体験活動及び文化協会との連携により、住民による文化振興への関心を高めたり、まなびの成果の発表の場を提供する。					
令和4年度の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習フェスティバルの開催(10/22～23の2日間開催) ・町内各サークル(俳句部、華道部、絵手紙部、写真部)、小中学生及び一般町民による作品展示、体験学習コーナー及び出店等 ※1日目は文化振興事業「自衛隊音楽隊コンサート」を開催。 2日目の文化協会邦楽祭は実施しなかった。 					
事業取り組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・作品出展数 898点(前年開催せず) ・邦楽祭出演演目数 なし(前年なし) ・入場者延べ人数 360人(前年0人) ※体験コーナーは、各種団体のPRの場として有効であり、また宇都宮大学農学部附属演習林や塩谷町消防署、町産業振興課の協力による体験コーナーも人気があった。 					
事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者へのアンケートを実施しているが、来場者からは概ね好評である。しかし、住民の中でも来場したことが無い方も多数おり、時期的な問題で他の行事とぶつかることもあった。宇大演習林や消防署などの協力をいただいたが、さらに真新しいコーナーなども検討する必要がある。 ・今後も情報提供やPR等周知をするとともに作品等の出品を増やしたり内容の検討を図っていく必要がある。 					
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな出品者や参加者を集めることは困難を極め、新しいジャンルの出品や参加が無いのが現状であるが、更なる町民参加を図るために文化協会、各種サークル団体又は各種事業や講座等の連携を図り、フェスティバル事業の継続や発展を図るためのアイデアが必要である。他事業との共同開催等も継続して検討する必要がある。 					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
<p>コロナ以前に比べると作品数、参加者ともに低い水準となっているが、ある程度やむを得ないものと判断する。それよりも、今後のフェスティバルにおいて、参加者を増やすためにどのような企画、準備を進めるべきか検討を行う方に注力していきたい。</p>

【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 ・ 指 摘 事 項 等
<p>文化は心の豊かさの象徴であり、興味を持っている町民は沢山居ると思われる。コロナ禍が一段落した今、本事業の位置付け、価値付けをどのようにするか見つめ直す機会なのではないか。コロナ禍以前の盛況を取り戻すべく、企画に取り組んでほしい。</p> <p>周知の徹底を行ってほしい。</p>

令和5年度教育委員会の点検・評価シート(令和4年度事務事業対象)

事務事業名	スポーツ・レクリエーションの普及推進事業					
総合計画	政策名	将来を担う人の育成と活力あるコミュニティの形成	担当課	生涯学習課	担当	スポーツ振興担当
	施策名	スポーツ・レクリエーションの普及推進	事業費	75,953 千円		
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日					
関係法令・条例等	体育施設設置及び管理条例、都市公園条例、各種大会実施要項等					
事業の目的	体育施設の貸出しやスポーツ大会をとおし、スポーツ・レクリエーションの普及、町民の交流、健康増進を図り、元気で健康な連帯感あふれるまちづくりをする。					
令和4年度の取り組み状況	<ol style="list-style-type: none"> 1) スポーツ大会等の実施(水泳教室、親子ウォーキング大会) 2) 各種スポーツ団体の支援(町スポーツ協会1,660千円、しおやゆりぴースポーツクラブ600千円、スポーツ少年団120千円へ補助金) 3) 関東・全国大会出場者への激励金支給 4) 体育施設等の維持管理 					
事業取り組みの成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 予定をしていたスポーツ大会等については、スポーツフェスタ夏季大会(グラウンドゴルフのみ)と、なわとび大会が3年ぶりの開催となった。また、町主催のウォーキング大会が初開催となった。 2) 町スポーツ協会では、各競技団体が自立した大会や教室を開くなどしている。ゆりぴーSCは小学校の旧部活動の受け皿としてスポーツ振興に貢献している。 3) 該当者延べ個人14名、団体3組へ合計180,000円を支給 4) 船生東体育館改修工事45,100千円、総合公園ちびっこ広場園路補修工事4,675千円 					
事業実施における課題	<ol style="list-style-type: none"> 1) 新型コロナウイルス収束後のスポーツ大会・教室の開催。 2) 各競技団体とも会員数が減少傾向にある。 3) 施設の老朽化が進んでおり、維持管理費が高んでいる。 					
今後の方向性	<ol style="list-style-type: none"> 1) 町主催のウォーキング大会を開催し、多くの町民の参加者を図る。 2) 誰もが手軽に始められるウォーキングを推進し、一人一スポーツの普及を図る。 3) 利用者の安全を第一に営繕していくが、大規模な修繕となると公共施設総合管理計画において検討していく必要がある。 4) 新型コロナウイルスが収束する中で、各種スポーツ大会・教室を開催する。 					

【評価】

A	計画以上に目標を達成した。	十分に成果を得ることが出来た。
B	計画どおりに目標を達成した。	予定した成果を得ることが出来た。
C	目標達成にはやや至らなかった。	予定した取組成果を得ることが出来なかった。
D	目標達成には至らなかった。	期待した取組成果を得ることが出来なかった。

【自己評価】

【 B 】

意 見 ・ 感 想 等
各スポーツのイベントが再開しつつあるが、コロナ蔓延以前のように参加者数が集まらない状況である。そのような中で、初開催の湧く湧くしおやウォーキング大会に合計270名の応募があったことは、今後イベントの再開につながるものだと思う。

【評価者評価】

【 B 】

評 価 者 意 見 、 指 摘 事 項 等
体、心の育成を仲間と共に行う事により達成感が醸成され「心のふるさと塩谷」へ繋がる。他に気になることは、中学校部活動の地域スポーツ移行である。その受け皿をゆりぴーSCが担えるのか疑問である。 町主催のウォーキング大会を初開催出来たことは評価できるが、イベント実施時の広報の周知徹底をお願いする。

IV 総合評価

1 教育委員会議の開催及び教育委員の活動状況について

教育委員会の開催状況につきましては、開催回数は十分であり、慎重な審議、情報共有、勉強会などなされていることがうかがわれ、目的及びその任務に即した充実した活動が行えていると評価できます。

教育委員会以外の活動に関しましても、コロナ禍で制限はされていましたが、できる限りの参加をしており、一定の評価ができる活動だったと考えます。

学校訪問については、11月までに全校を訪問出来るよう検討していただければと思います。

2 教育に関する事務事業の執行状況について

学校教育課、生涯学習課いずれの所轄事業とも、第6次塩谷町振興基本計画（前期基本計画）及び第4次塩谷町生涯学習振興計画（兼第1次塩谷町男女共同参画振興計画）に基づき、適正かつ着実に事務事業執行がされていたと評価できます。

塩谷町の特色を取り入れた体験活動や町内でのウォーキング大会の開催等は、仲間と密な時間を共有することによる協同学習意欲の向上や、地域コミュニティの形成、郷土愛の育成に繋がる貴重な事業であると評価できます。

将来を担う人材の育成のために、今後も安心安全な教育環境の整備、並びに少子高齢化に即した生涯学習活動を推進していただけることを期待します。

以上、総合評価とします。

令和5年度（令和4年度事業対象）塩谷町教育委員会点検・評価報告書

問合せ先

発行 栃木県塩谷町教育委員会

〒329-2441 栃木県塩谷郡塩谷町大字船生 989-1

T E L 0287-48-7501 F A X 0287-48-7502

E - m a i l gakkou@town.shioya.tochigi.jp